



もっく

もっく

楽しみましょー

DOJIN
R18
成人向け
18歳未満の
購入・閲覧禁止



星辰の刻の終わり……
夜明けまでの
ほんの少しの時間だけ

ささやかなきっかけと
幾つもの幸運が重なって……
あなたが私を想ってくれて

それは泡沫の夢のよう……
それでも確かに存在した
夢の時間だったのよ

マスター

マスター！



やっと
見つけましたわ

!?

似合ってる
かしら?

あ…アビーさん
その格好は…!?

少々刺激のかと…
何故その様な格好を?

なにか文句
あるの?

え…と

ぱん
ぱん



黒髭のおじさまが
『マスターの趣味は
こういう衣装ですぞ』
って用意して
くれたのだけと…

似合わないかしら?

用事ができたから
後はよろしくね
マシユ

センプাই!?

ドッ
ドッ



座長さんは変わらず
元気そうで何よりだわ



先輩と黒髭さんには
後でお話を聞く
必要がありますね

…ふふっ



まさかまた
先輩を連れに…!?

あら
それは誤解よ?



アビーさん
あなたは…

ええそうよ

セイレム以来ね
マシユさん

またお会いできて
嬉しいわ



それさえもう二度と
機会は無いと
思っていたから……

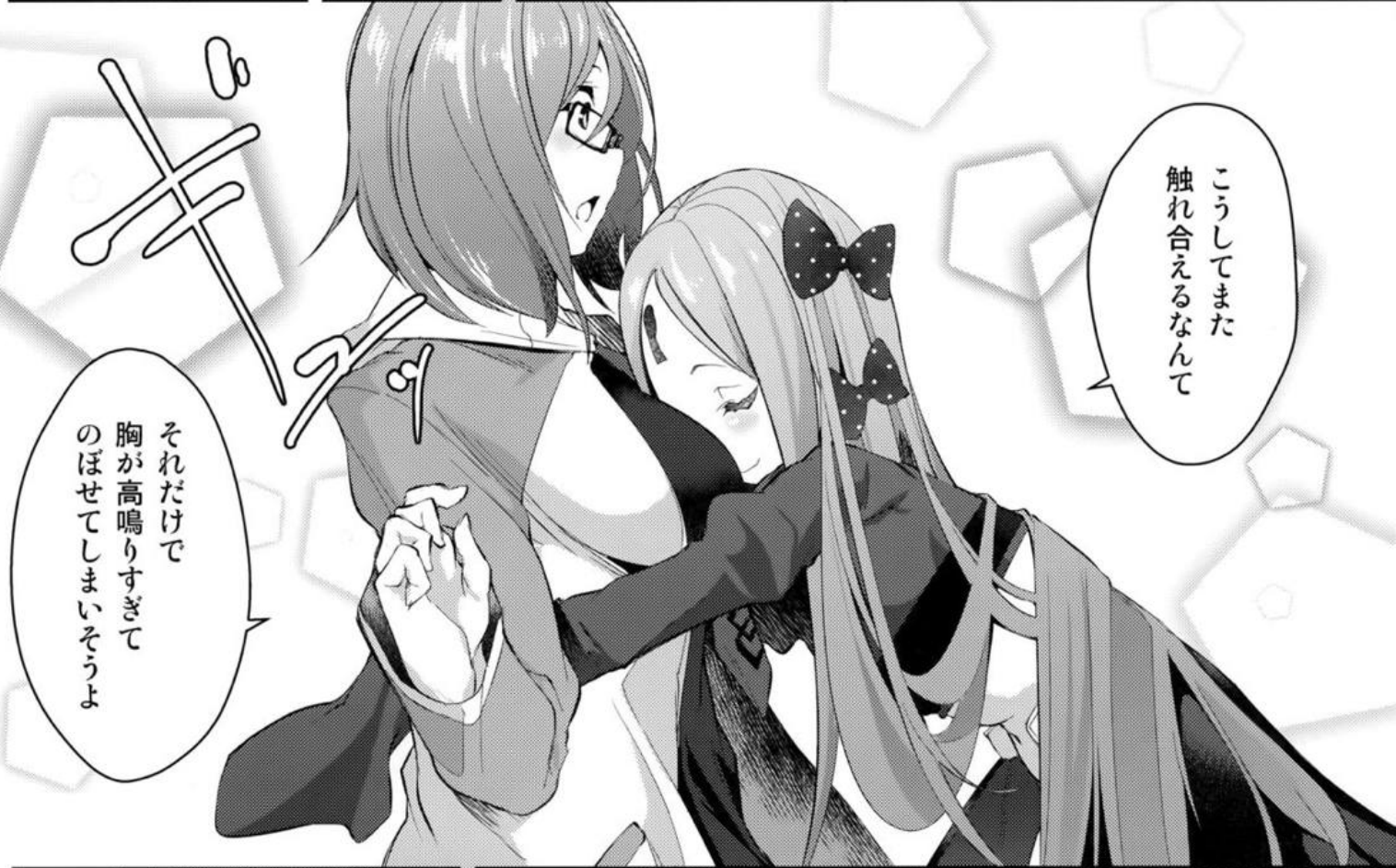


ほんの少しの
触れ合いだけ

カルデアの私を借りて
できるのは……



そもそも……
コチラに連れていけるような
星の運びは本当に稀なの



こうしてまた
触れ合えるなんて

それだけで
胸が高鳴りすぎて
のぼせてしまいそうよ



だからね？



アビーさん……



大勢の英霊に
守られている
座長さんには
触れられないから…

マシユさんとは
いっぱい愉しみたいの

しまった
このアビーさんは…

次に逢える時まで
忘れられないよう



どうか今の私を
骨の髄まで
堪能してくださいな



あ!

は
う…

ア
ビ
ー



マシユさん
可愛い

こういう遊びは
初めてかしら？



アビーさん…



貴女の目的は
判りません…が…

このまま続けても
すぐに異変を察知され
貴女は拘束されます



で…ですから
こんなことは
もう止めて…
こんな状況でも
心配してくれるなんて…
嬉しいわマシユさん

けれど
私は大丈夫だから
安心して下さいな

今の私にできるのは
触れ合うことだけ

これ…変です…

身体を這われている
だけなのに……

怪我もしないし
痛みも無いのだから

力が抜けて……

だあれも…
私に気付くこと
なんてできないわ

アソコの奥が……

どんどん
熱くなって……



セイレムの私と話してるのだから気付いてるか?

……っ!?

いあ



ここは夢の中よ?

それとも……マシユさんは気付いてないのかしら?

?



今は座長さんとカルデアの私を介して夢を見てるだけ……

夢に介入する術があるにしても

害に成り得ない存在に凶兆の予言なんてされないでしょう?



私は嘘を吐いてないわ

お言葉ですが……この状況でそれは無理があります……っ!

ふふっ



甘い痺れが：
腰から…全身に…っ

今の私は…誰にも苦痛を
与えられない制約で
顕現しているの



お腹の中が…
かき回されているっ

今もかなり乱暴に
膣内を穿つてる
のだけれど

怖い…痛い…
はずなのに…っ

痛みはまったく
無いでしょう？



だからこの通り

ここでは
どんな無茶も
苦痛なく
愉しめるのよ

苦痛が…無いから…?

頭の中に…際限なく
快樂だけが浸み込んで…

これは…だめ…っ

こんなの続けられたら…

アビー…さん

アビーさんが
こんな事するなんて…
先輩は望んでいません…

だから…
目を覚まして
くださ…い…ッ

もしかして…:
カルデアの私は
望んでないって
話かしら?

それなら直接
聞いてみます?

え…?



私…やっぱり
悪い子だわ……

マシユさん…
ごめんなさい…

は
は
は

は
は
は



けど仕方ないのよ♥
膣内を挿られることで
こんなにも幸せで…
満たされるなんて……っ♥

こんな素敵な夢……
マスターにもマシユさんにも
お裾分けしてあげないと……♥

アビー……さん……



カルデアの私だって
あんなに
悦んでるんだもの

マシユさんも
きつと気に入って
くれるわ♥

ひう……っ♥

だ……だめですっ

こんなものが
幸せだなんて……



ひっ♥ あああああっ♥
両方なんて…すごい…すごいわッ♥

おま○この穴も
おしりの穴も壊れる…ッ
気持ちよくて
壊れちゃうのおツ♥

アピーさん…っ

そんなに心配
しなくてもいいわ



ちゃんと
マシユさんにも
してあげるから♥

ひッ!?

ま…待ってください!
そんなとこ挿入らな…ッ!?

ぐう…あッ!?

んああああっ♥



はああ…♥
お尻の入り口が
ぎゅうぎゅう締まって
干切れてしまいそう…♥

異物を捻り出そうと
中也グニグニ蠢いてて
可愛いわ…♥
こんなの…こんなの…



どこまでも蹂躪したく
なってしまうわ♥

ああ…素敵よ
マッシュさん…♥
一緒にもっともっと
愉しませよう…♥

こんな…きもちひいの…
ダメで…え…♥

そんな…奥…う…♥
あたま…ヘンにな…♥

んッあ♥
あああッ!!♥



あッ
あッ
あッ



ん…ぶあッ
あぁあ…ッ
あぁああッ



んむッ!?
んんんんッ



あッ

きもちいいのだから…っ
もうだめええッ



もつと…
もつとよ…っ
マシユさんに私を
刻みつけてあげるっ
い…あッ
乳首…
ちぎれちゃ…
そんな…奥まで
挿入ら…
ひあぁあッ



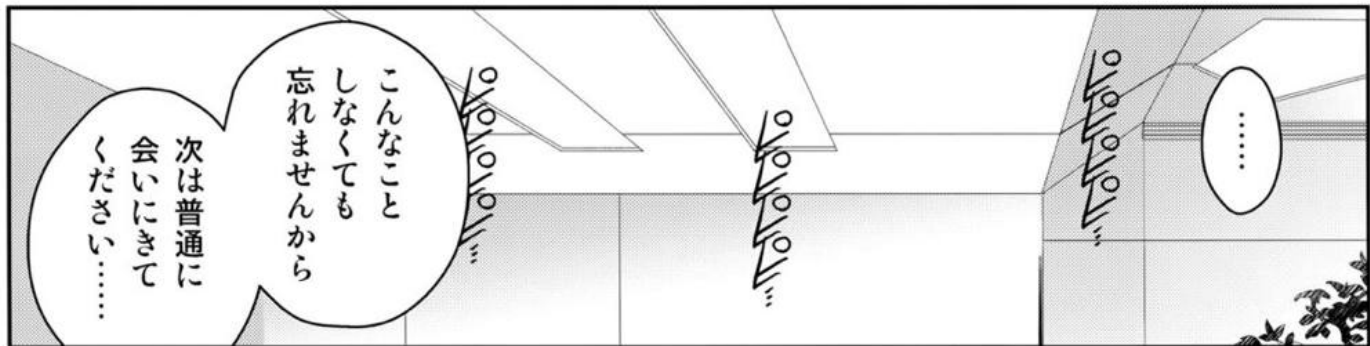


ねえマシユさん
愉しんで
くれたかしら？

次があればもっと
気持ちよくして
あげるわ



だからそれまで
セイレムの私のこと
忘れないでね



こんなこと
しなくても
忘れませんから
次は普通に
会いに来て
ください……

『もっともっと楽しみましょう』
2019年12月31日発行(コミックマーケット97)

原作 : Fate/Grand Order
印刷 : 株式会社 サングループ 様
発行者 : 秋
サークル : 秋風アスパラガス
MAIL : autumn0130@gmail.com
pixiv : 6723
Twitter : aki_sun

SPECIAL THANKS : うづら 様

※18歳未満の購入、閲覧、並びに本誌の無断転載を禁止致します。



しまった
このアビーさんは...

マッシュさんとは
いっぱい愉しみたいの

!?
守られている
座長さんには
触れられないから...

!!
!!

どうか
骨の髄ま
堪能
いな

もっともっと楽しみましょう

presented by
秋風アスパラガス

し
だから

だあれも...
私に気付くこと
なんてできないわ